

令和元年度 医療勤務環境改善セミナー 報告書

1 概要

- (1) 日時 令和2年1月10日(金曜日) 午後2時30分から午後5時まで
 (2) 会場 東京都社会福祉保健医療研修センター 1階 講堂
 (3) プログラム

	内容
1	東京都からの報告連絡事項 「医師の働き方改革に係る都の役割及び医療勤務環境改善支援センターの支援について」 説明者:東京都福祉保健局医療政策部医療人材課 主任 田澤 康平
2	基調講演 「医師看護師等の宿日直許可基準及び医師の自己研鑽に係る労働時間の考え方について」 講師:東京労働局労働基準部監督課 地方労働基準監察監督官 福島 憲一 氏
3	セミナー終了後 労務・経営相談会 医療労務管理アドバイザー・医業経営アドバイザーによる相談ブースを設置

2 参加者

- (1) 申込者 合計 228名(施設数:176病院、2施設)

【管理者】

理事長	1
理事	3
院長	7
副院長	6
計	17

【事務職】

事務長	114
課長	1
その他事務	76
計	191

【看護師】

看護部長	18
副看護部長	2
計	20

- (2) 参加者 合計 201名(施設数:161病院、2施設)

【管理者】

理事長	1
理事	3
院長	6
副院長	6
計	16

【事務職】

事務長	95
課長	1
その他事務	62
計	158

【看護師】

看護部長	17
副看護部長	1
計	18

【その他】

記載なし	9
計	9

3 アンケート結果

アンケート回収者 148名(回収率 73.6%)

【属性】

1.施設種別 (n=148)

病院	147
診療所	0
その他	1
未回答	0

(病院の場合)病床数 (n=146)

100床未満	32
100床以上200床未満	29
200床以上	72
未回答	13

2.施設所在地 (n=148)

23区	95
多摩地域	48
その他	0
未回答	5

3.役職 (n=148)

理事長	0
院長	4
事務長	72
看護部長	15
その他	50
未回答	7

その他 (n=50)

副院長	4
看護副部長	1
人事担当	8
労務担当	3
総務課	9
その他事務系	7
シニアマネージャー	1
未回答	17

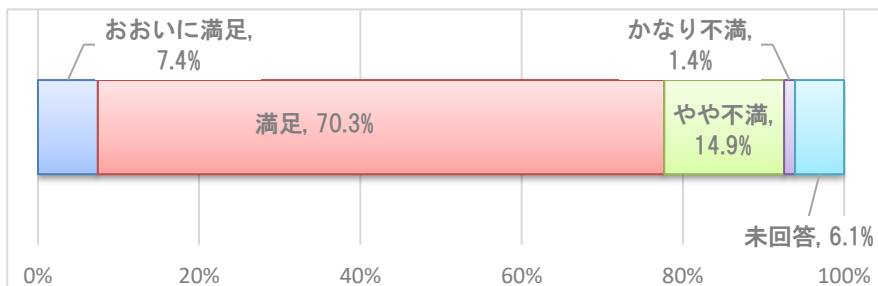
【セミナーについて】

4.セミナーに参加した理由 (n=148〔複数回答〕)

働き方改革について知りたいから	97	65.5%
支援センターの支援内容を知りたいから	23	15.5%
労務管理について知りたいから	81	54.7%
労働時間の考え方について知りたいから	89	60.1%
勤務環境改善を経営戦略としたいから	25	16.9%
支援センターを活用した医療機関の事例を知りたいから	12	8.1%
自院での勤務環境改善が喫緊の課題でありその参考としたいから	34	23.0%
その他	1	0.7%

5.セミナーの内容は満足いくものでしたか。(n=148)

おおいに満足	11
だいたい満足	104
やや不満	22
かなり不満	2
未回答	9



【良かった点】

- ・福島先生の話がわかりやすく、面白かった。
- ・労働局監督課の話が分かりやすく参考になった。
- ・東京都医療勤務環境改善支援センターの役割、利用について理解できた。労働時間の概念が非常に複雑で難しいと痛感した。
- ・様々な現状について話を聞いた。他院でも同じ悩みがあることが分かった。
- ・とても分かりやすい説明をしてくれる講師だった。
- ・働き方改革に向けて検討中ばかりということが判明した点(良かったこと)
- ・医師等の宿日直許可基準について、わかりやすく教えてもらった。
- ・医療勤務環境改善支援センターの具体的事例が大変よく分かった。宿日直許可基準等具体的で大変参考になった。
- ・地方労働基準監察監督官の話を直接聞いたことが良かった。
- ・参考資料の国の通知集や事例は大いに参考になった。改めて見直す機会となり良かった。
- ・当院の労務管理の甘さを痛感し、医療勤務環境改善支援センターの利用を真剣に検討してみようと感じた。実際の監督官の話を聞いたことは考え方の参考となった。
- ・東京労働局の方の考え方が分かり参考になった。
- ・講師との質問のやり取りが可能だったこと。
- ・宿日直許可基準や労働時間の考え方について理解が深まった。新たな課題発見の場となった。
- ・労働局の講演が現場目線に立った話で大変わかりやすかった。
- ・参考資料をいただき、職場内で検討することができる。何か質問があれば連絡ができる。良かった。

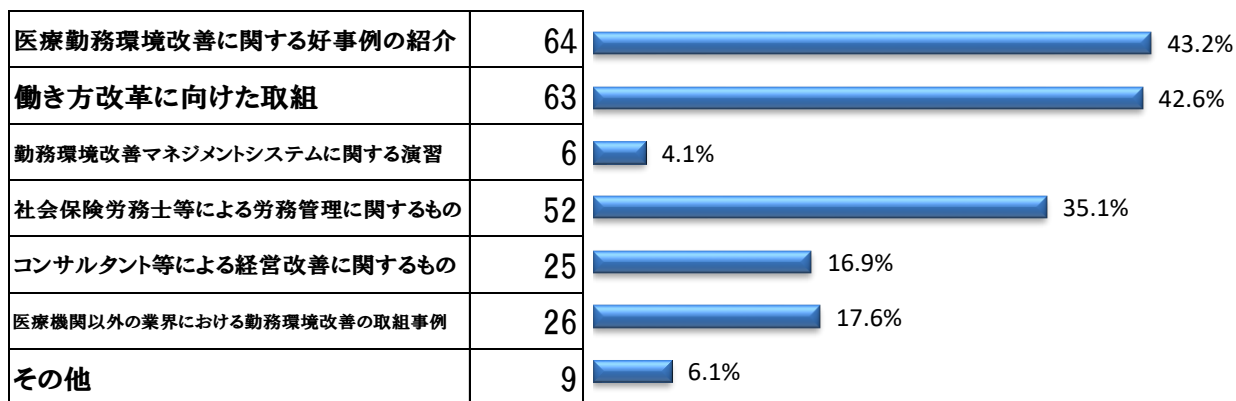
【悪かった点】

- ・質問時間が短い
- ・講師の声が聞き取りにくかった
- ・十分な理解まで至らなかった。
- ・まだ計画段階で決まっていないことが多すぎる。
- ・あいまいでわかりにくい。具体例が欲しい。
- ・レジュメを読み上げるだけで、資料配布で十分
- ・労働局のスライドが細かく見づらい。要点が分かりにくい。

【要望等】

- ・支援センターについては、具体的な取組例が聞きたかった。自己研鑽についての通知は知っているが、現場はそれでは整理しきれない。もう少し具体例や考え方として参考になる話を聞きたかった。
- ・具体的に取り組むべきことを知りたい。
- ・病院実態に合った新しい改善策が見いだせない。労働者保護の観点だから仕方ないのだろうか。
- ・宿直時の「稀に」労働がある場合の基準を明確にしてほしい。手待ち時間との違いを明確にしてほしい。

6. 今後のセミナーで取り扱ってほしい内容は何ですか。(n=148〔複数回答〕)



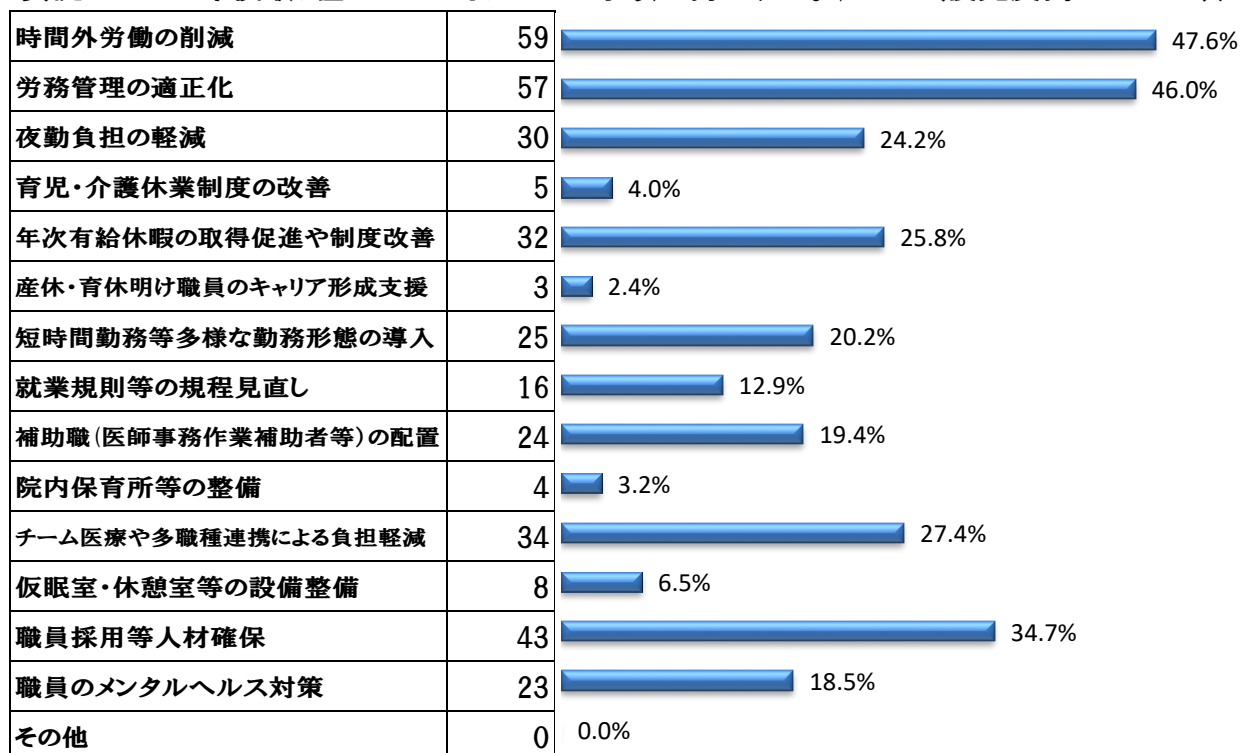
(医療勤務環境改善に関する好事例の紹介)

- ・400床以上の病院の事例
- ・労働基準監督署に指導された病院とその改善例
- ・23区内の中小病院

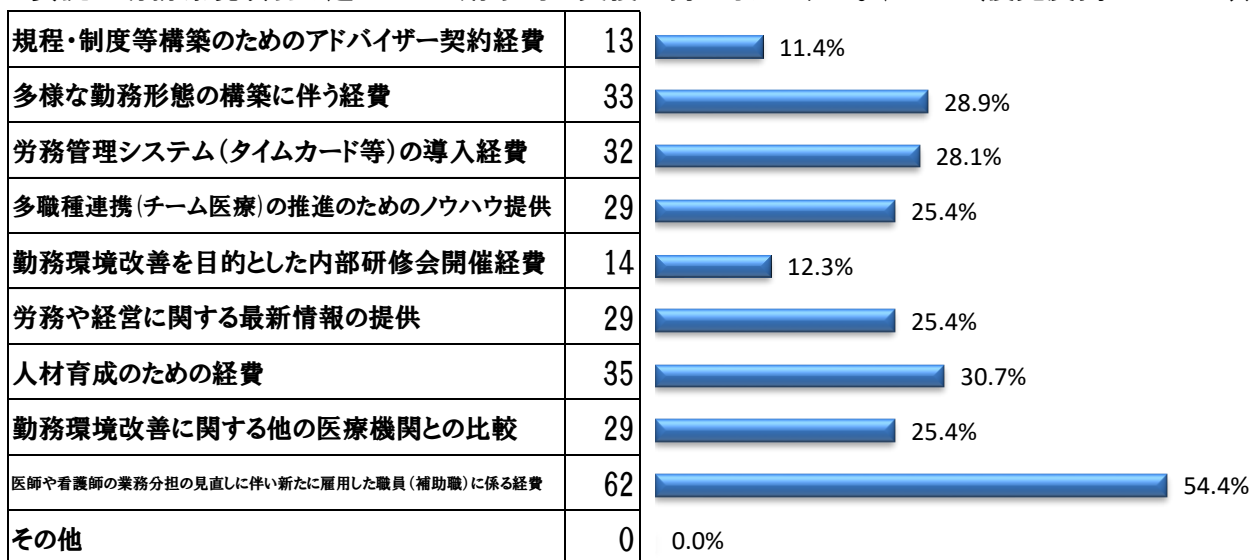
(その他)

- ・病院の事務職員の働き方改革について
- ・法解釈の事例説明
- ・医療法との関係
- ・職員に割増賃金を十分に払った上で、患者の治療をして経営を成り立たせることの難しさについて
- ・ハラスメント研修
- ・勤務管理のために導入された勤怠システムとの整合性
- ・労働基準監督署の話が聞けると面白い。
- ・医師の働き方改革に係る公的補助金の説明会

7. 貴院において今後取り組みたいと考えている事項は何ですか。(n=124〔優先度高い3つまで〕)

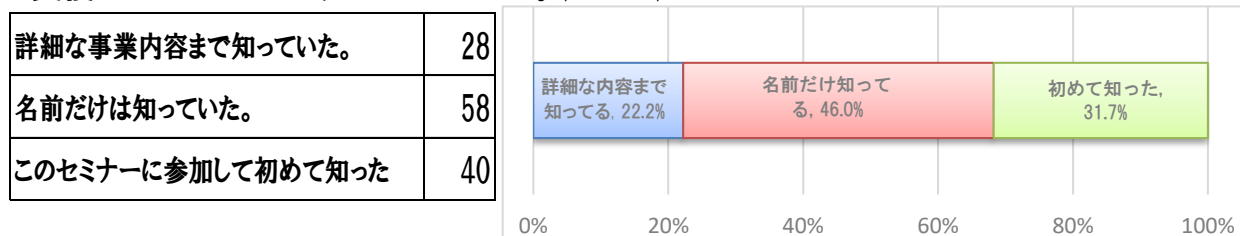


8. 貴院の勤務環境改善を進めるのに効果的な支援は何と考えますか。(n=114(優先度高い3つまで))



【支援センターについて】

9. 支援センターについて知っていましたか。(n=126)

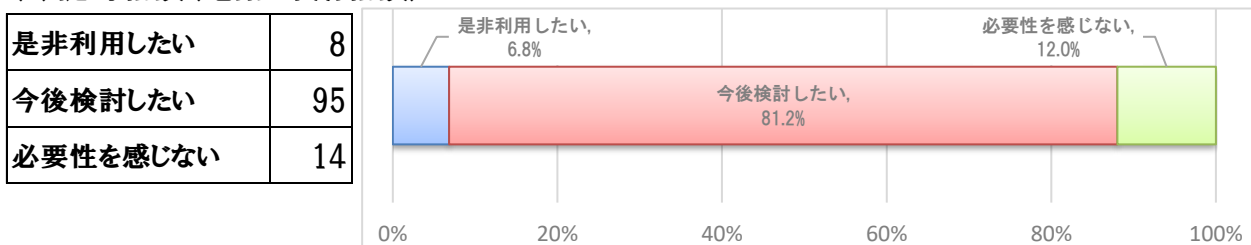


10. 支援センターで実施している以下の支援を利用したいと思いますか。(n=117)

(1) 導入支援(現状分析・課題抽出支援、課題選択型支援)や組織力向上支援



(2) 随時相談(電話・来所相談)



(必要性を感じない理由)

- ・自院の分析・課題については各事業所で違うものと思う。自院の問題点については、自分たちで見つけなければならないと思う。それから先は支援センターに相談していくのが良いのではないか。
- ・回復期療養型のため、時間外労働は基本発生しない。訪問診療や看護は検討が必要だが、それほどのレベルではない。
- ・自院のプレインを含めた体制で対応可能だから。
- ・支援策は限られているのではないか。
- ・残業等の勤務はほとんどない。

【その他意見・要望 等】

- ・短時間労働力を確保し、欠落した部分を補充する。常勤時間を緩和し、子育て世代、介護世代医師の有効的なサポートをすることで人材確保をする。
- ・病院は今後成り立っていくのだろうか。勤務医がいなくなる？
- ・紹介会社に支払う紹介料が年々増えている。人材が定着せず、育たないなど、医療業界で働く人材確保が難しい。医療法人で働く人材も他の業界との人材交流など視野を広げられ理ような取組も必要ではないか。兼業をもっと認めるなど。
- ・説明が分かりやすい講師を希望する
- ・他院の具体的な取組事例が知りたい。対策を実施するについて財政的補助について具体的な説明があれば助かります。
- ・モデル病院の紹介等をお願いする。システム構築が大変。
- ・今後も必要な情報提供をお願いします。
- ・今回は法令や制度解釈の解説を行っていただいたが、人事労務者向けの働き方改革の実践に踏み込んだ内容のものを開催してほしい。個別事例を聞かないとわかりづらい分野であるため検討してほしい。
- ・職員アンケート7項目は詳細な項目があればほしい。(参考資料として配布済み)